

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	保育所ふれあい交流推進事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	入所児童、地域住民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 民間保育園 】		
目的・目標		事業の概要	
地域ぐるみの交流を通して、児童のお年寄りへの「いたわり」や「思いやり」の心を育て、社会性を養うとともに、地域の子育てが支えられています。		保育所の持つ地域性を活用し、児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培うため、世代間交流事業、異年齢児交流事業、自然体験活動などを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	実施保育所数			単位	園
	説明・算定式	延べ実施保育所数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	37	37	37	37	
	実績	38	39	40		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	交流事業数			単位	回
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	2400	2500	2500	2500	
	実績	2317	2335	2344		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
民間保育所の積極的な取り組みにより、事業実施保育所数が増加しました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培うために必要性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	保育園が行う子育て家庭交流等は、入所児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培うのに有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業が適切に実施されることにより、入所児童の思いやりを持つ心や社会性が養なわれるとともに、生きる力が培われ、事業目的を達成するのに妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業内容等を検討し、更に効率性を高めていきます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		地域の子育て家庭や小中高生、お年寄りなどによる地域ぐるみの交流等を通じて、地域の子育て力を高めていく必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		子育て家庭交流、中高生との体験交流など	子育て家庭交流、中高生との体験交流等の実施	子育て家庭交流、中高生との体験交流等の実施	子育て家庭交流、中高生との体験交流等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	450	450	450
	県支出金	750	630	750	750
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,550	2,270	2,400	2,400
事業費 (A)		3,300	3,350	3,600	3,600
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	6.68	6.90	6.95	6.65
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		55,819	56,988	56,323	53,300
フルコスト (A+B)		59,119	60,338	59,923	56,900

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	各種交流事業への参加者数の増加を図ります。
課長コメント	今後も保育所の持つ地域性を活用し、子育て家庭交流や世代間交流等を積極的に実施し、児童の思いやりを持つ心や社会性を養い、生きる力を培っていきます。